

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	基本事業	コミュニティ組織の強化・充実		事業実施主体	市
	事務事業	地域コミュニティ協議会事務局体制強化支援事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	新しい公共の担い手として、地域コミュニティ協議会が地域社会の中心的な役割を果たし、地域のまちづくりが活性化するように、事務局体制の強化支援を行う。事務局では、各種会議や行事の開催準備、会計処理などの事務（以下「事務局事務」という。）を行っており、地域コミュニティ活動の活性化に伴い、事務局事務が増加しているため、各協議会における事務局体制強化への支援策として、「地域コミュニティ協議会事務局体制強化支援事業補助金」を創設し、事務局に係る人件費を補助する。				
30年度概要	地域コミュニティ協議会事務局に係る人件費の補助（本市非常勤嘱託職員に係る人件費を適用）				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市内全域の44地域コミュニティ協議会
意図（どのような状態にしたいか）	地域コミュニティ協議会の事務局事務が円滑かつ継続的に行える体制を整える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付地域コミュニティ協議会数	協議会		44	44	44	44

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	事務局体制を構築・強化した地域コミュニティ協議会数	協議会	目標値		44	44	44	44
	実績値		44	44				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標どおり達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	98,319	109,957	115,452	124,331
（事業費）	[千円]	90,642	102,106	107,865	116,744
（職員人件費）	[千円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

当該事業が、地域コミュニティ協議会及びその構成団体の自主性をそぐことにならないよう、支援のあり方については、継続的に検証を重ねる。  
まちづくり戦略計画に示されている、コミュニティプランの見直し率を踏まえつつ、検討していく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

当該補助事業は、平成27年度までの予定となっていたが、現状でも地域コミュニティ協議会の事務局の体制が、当該補助金無しには成り立たない状況であるため、各地域コミュニティ協議会の意見を取りまとめた高松市コミュニティ協議会連合会からの当該補助事業の継続及び拡充についての要望書が市長宛に提出された。この提言書の内容を踏まえつつ、地域コミュニティ協議会の自立が促進される事業スキームを検討しながら事業を継続していく。財政課からの予算執行における指示事項にも留意し、事務のあり方を検討する。